

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)12月15日号 No.1680

目次

■ 薄幸のイルクーツク州 齋藤 大輔 1	
一 トップ混迷の10年と共産党知事の誕生一	
■ 統計速報 7	
2015年1~11月のロシアのブランド別乗用車販売台数 / 7	
■ モスクワほっとニュース 8	
おいしいロシア・ワインを飲めるレストラン:「LAVKA LAVKA」 / 8	
■ トピックス 9	
日・カザフ、官民インフラ会議を開催 / 9	
ウクライナ、EUとのFTAが来月から発効 / 9	
ロシアで転炉の近代化工事を受注 / 9	

薄幸のイルクーツク州 一 トップ混迷の10年と共産党知事の誕生一

ロシアNIS経済研究所 次長
齋藤 大輔

はじめに

プーチン大統領の支配体制が強固なロシアで、共産党知事が誕生したことを知っているだろうか。場所は東シベリアの中核・イルクーツク州。9月に行われた統一地方選挙で、唯一プーチン政権の与党・統一ロシアの候補が敗北し、野党・共産党の候補が当選した。なぜ今回、共産党はイルクーツクで勝てたのか。そして、なぜ統一ロシアはそこまで嫌われたのか。2015年11月、イルクーツクに出張する機会を得た。その際、面談した人たちに聞いてみた。

現職不信が共産党に

「知事の入替え需要は常にある」

「知事の椅子取りゲームが好きだから」

選挙結果について、会った人たちに尋ねてみたところ、苦笑しながらそんな答えが返ってきた。中には関心がないのか答えをはぐらかそうとする人もいた。調べてみると、新生ロシア誕生以降8人(代行を含む)、ここ10年だけでも6人も知事が交代していた。